	1			1		1				
科目ナンバー	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			科目名生活科教育法					_	
教員名	峯岸 由治			開講年月	度学期	2020年度 前期 単位数			<u></u>	2
概要	本授業は,以下の内容をグループワークによって行う。1.指導案並びにVTRによる生活科授業の観察と分析,教科書に見られる活動や体験の抽出を行い,児童の気付きを促す活動や体験の構成と関連を考える。2. 実践記録を分析し,児童の「思いや願い」を生かし,気付きを促す生活科授業の構成方法を考える。3.模擬授業の実施と質問紙による授業評価並びに授業者評価を行い,授業評価に基づく授業研究を行う。									
到達目標	1. 小学校教育 る。	育における生活科教	育の性格・意	意義を理解	解し,説	明で	きる。2. 生活	科の授業を構成	成し実	ミ践でき
「共愛12のカ」と	の対応									
識見		自律する力		コミュニ٬	ケーショ	シカ	ı	問題に対応する	力	
共生のための知言	哉 〇	自己を理解する力	0	伝え合う	カ		O 5	↑析し、思考するカ ○		0
共生のための態度	隻 〇	自己を抑制する力	0	協働する	5力		() 村	構想し、実行す	る力	0
グローカル・マイ ンド	0	主体性	0	関係を構			O 3	実践的スキル		0
教授法及び課題のフィードバック方 法								 針評価,授 ます。し		
アクティブラーニン	ング	サービス	ラーニング				課題解決型	 学修	()
受講条件 前提 科目	是 特になし				ı					
アセスメントポリシー及び評価方法	1授業への参加能度、演習課題の提出、生活科学習指導案の作成などに基ついて総合的に評価する。									
教材	『小学校学	習指導要領』,『小学	校学習指導	要領解説	生活線	扁』,そ	その他適宜プ!	ノントを配布する	5.	
参考図書		Donna M.Wolfinger & James W.Stockard Jr 完訳 黒上晴夫『総合カリキュラム 理論から評価まで』日本文教出版佐々木勝男・小川修一『こうすればできる!授業の技術と実践 生活科1・2年』ルック								
内容・スケジュー	ル									
1週目										
	 生活科授業の	観察と分析① 講義	 計画を説明す	するととも	に、生活	活科技	 授業の分析視	 点を検討する		
授業外学修内	資料を読む						時間数			
2週目										
授業外学修内容	手のはなし」の授業構造を整理する 時間数 0.5					5				
3週目										
生活科授業の観察と分析③ 生活科授業をVTRにより観察し、活動や体験の構成と関連を視点に検討する。										
授業外学修内 容	生活科指導案を読む 時間数 1									
4週目										
授業学修内容	生活科授業の で検討する。	観察と分析④ 観察し	ンた生活科技 	受業を、児	見童の気	気付い	\た内容と動く	おもちゃの原理	里との)関連
授業外学修内 容	逐語録を読む。 時間数 1									
5週目										
授業学修内容	授業設計と学習	習指導案① 授業の	設計仮説であ	ある学習	指導案	の構	成について解	説する		
授業外学修内 容	公開されている	ら生活科指導案を調	べる				時間数	0.5	5	
l										

原業外学体内 著名教科書を調べ、学習活動の構成を読み取る 第	6週目				
### 生活科教科書を調べ、学習活動の構成を読み取る 時間数 0.5	授業学修内容		構成と関連に	ついて、分	
受業学修内容 生活科教科書に見られる学習活動の構成②生活科教科書に見られる表現活動の意義について解説する。 受業外学修内容 投業設計と学習指導象②指導計画並びに本時の展開計画における学習活動の設定について解説する。 受業外学修内容 投業設計と学習指導象②指導計画並びに本時の展開計画における学習活動の設定について解説する。 受業外学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 の選目 受業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 の場されている指導家を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 歴史業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受業外学修内 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受業外学修内 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 の場されている指導家を比較し、授業構成を検討する。 の場されている指導家を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 歴史業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 の場されている指導家を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 歴史業学修内容 授業設計と学習指導家② 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 の場では、評価規準を書く 時間数 0.5 12週目 受業学修内容 生活科授業の実践と評価・学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 安業外学修内容 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 13週目 受業学修内容 検験授業の実施と授業研究② 検験授業を実施し、授業評価を行う。 受業外学修内 核数授業 の実施と授業研究② 検験授業を実施し、授業評価を行う。 受業外学修内容 核数授業 の実施と授業研究② 検験授業を実施し、授業評価を行う。 受業学等の内容 核数授業 の実施と授業研究② 検験授業を実施し、授業評価を行う。 受業学等内容 核数授業 の実施と授業研究② 検験授業を実施し、授業評価を行う。 「特別数 0.5	授業外学修内 容	生活科教科書を調べ、学習活動の構成を読み取る	時間数	0.5	
受業外学修内容	7週目				
選問 生活科で活用されている表現活動を調べる 時間数 1 日	授業学修内容	生活科教科書に見られる学習活動の構成② 生活科教科書に見られる表現活動の	意義について	解説する。	
授業学修内容 授業教学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 受業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 受業学修内容 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する。 受業外学修内容 授業設計と学習指導案③ 教材観や指導観の内容、書き方について解説する。 受業外学修内容 校材観・指導観を書く 時間数 1 1 四目 授業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受業外学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受業外学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受験業学修内容 授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 日理・評価規準を書く 時間数 0.5 13週目 授業学修内容 生活科授業の実践と評価学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 日本活科の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実践と評価学習者評価、授業評価を行う。 「特別数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 「時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 「特別数 0.5 15週日	授業外学修内 容	生活科で活用されている表現活動を調べる	時間数	1	
受業外学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 受業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 の選目	8週目				
接導計画を作成する 時間数 「	授業学修内容	授業設計と学習指導案② 指導計画並びに本時の展開計画における学習活動の設	定について解	説する。	
受業学修内容 動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。 受業外学修内 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する。 日の週目 日	授業外学修内 容	指導計画を作成する	時間数	1	
受業外学修内 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する 時間数 0.5 10週目 受業学修内容 授業設計と学習指導案③ 教材観や指導観の内容、書き方について解説する。	9週目				
公開されている指導業を比較し、授業構成を検討する 時間数 0.5 10週目 授業学修内容 授業設計と学習指導案③ 教材観や指導観の内容、書き方について解説する。 授業外学修内 教材観・指導観を書く 時間数 1 11週目 授業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受業外学修内容 授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 授業外学修内	授業学修内容	「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検	<u></u> 討する。		
受業学修内容 授業設計と学習指導案③ 教材観や指導観の内容、書き方について解説する。 受業外学修内 教材観・指導観を書く 時間数 1 11週目 受業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 受業外学修内 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 12週目 受業学修内容 授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 受業外学修内 日標・評価規準を書く 時間数 0.5 13週目 授業学修内容 生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 受業外学修内 を 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 25 日本語科授業の実践と評価学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 受業外学修内 を 体験授業がある。 受業外学修内 を 検験授業がある。	授業外学修内 容	公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する		0.5	
受業外学修内 容 教材観・指導観を書く 時間数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10週目				
図案学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 授業外学修内 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 12週目 授業学修内容 授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 授業外学修内 自標・評価規準を書く 時間数 0.5 13週目 授業学修内容 生活科授業の実践と評価学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 授業外学修内 生活科授業の実践と評価学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 授業外学修内 を 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究①模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 を 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究②模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 を 模擬授業の実施と授業研究②模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 を 模擬授業の実施と授業研究②模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 を 模擬授業の実施と授業研究②模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 を 模擬授業の実施と授業研究②模擬授業を実施し、授業評価を行う。	授業学修内容	授業設計と学習指導案③ 教材観や指導観の内容、書き方について解説する。			
授業学修内容 「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。 授業外学修内 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 12週目 授業学修内容 授業設計と学習指導案④目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 授業外学修内	授業外学修内 容	教材観・指導観を書く	時間数	1	
受業外学修内 容 公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する 時間数 1 12週目 受業学修内容 授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 受業外学修内 目標・評価規準を書く 時間数 0.5 13週目 受業学修内容 生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 受業外学修内 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 存 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 受業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 受業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業分学修内 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5	11週目				
会 公開されている指導業を比較し、授業構成を検討する 時間数 12週目 授業学修内容 授業設計と学習指導案④目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 日標・評価規準を書く 時間数 0.5 名 13週目 受業学修内容 生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 日本 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 日本 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模類授業を実施し、授業評価を行う。 日本 15週目 授業学修内容 模類授業の実施と授業研究② 模類授業を実施し、授業評価を行う。 日本 15週目 技術学修内 模類授業を実施し、授業評価を行う。 日本 15週目 大学修内容 模類授業を読む 日本 1005 日本 1506 日	授業学修内容	「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。			
授業学修内容 授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。 授業外学修内 日標・評価規準を書く 時間数 0.5 13週目 授業学修内容 生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 授業外学修内 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 存 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業学修内容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 模擬授業が実施し、授業評価を行う。 授業分学修内 模擬授業が実施し、授業評価を行う。 授業分学修内 模擬授業が実施し、授業評価を行う。 日本の授業分学修時間の合計 10	授業外学修内 容	公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する	時間数	1	
受業外学修内	12週目				
日標・評価規準を書く 時間数 0.5 13週目 授業学修内容 生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 授業外学修内 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 存 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模類授業を実施し、授業評価を行う。 日本語の授業外学修時間の合計 10	授業学修内容	授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。			
授業学修内容 生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。 受業外学修内 を	授業外学修内 容	目標・評価規準を書く	時間数	0.5	
授業外学修内容 生活科の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 上記の授業外学修時間の合計 10	13週目				
密 生活料の評価について調べる 時間数 0.5 14週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 上記の授業外学修時間の合計 10	授業学修内容	生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。			
授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 とこの授業外学修時間の合計 10	授業外学修内 容	生活科の評価について調べる	時間数	0.5	
授業外学修内 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 で業 15週目 で 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 で 検擬授業指導案を読む 時間数 0.5 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	14週目				
容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 15週目 授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 上記の授業外学修時間の合計 10	授業学修内容	模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。	_		
授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。 授業外学修内 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 上記の授業外学修時間の合計 10	授業外学修内 容	模擬授業指導案を読む	時間数	0.5	
受業外学修内 容模擬授業指導案を読む時間数0.5上記の授業外学修時間の合計10	15週目				
容 模擬授業指導案を読む 時間数 0.5 上記の授業外学修時間の合計 10	授業学修内容 模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。				
	授業外学修内 容	模擬授業指導案を読む	時間数	0.5	
その他に必要な自習時間 50	上記の授業外学	修時間の合計	10		
I	その他に必要な自習時間 50				

Number	EDU-2-025-j	Subject	Methodology for ⁻ fe Sciences	· ·	imary Level Li
Name	峯岸 由治(Minegishi Yoshiharu)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2
	In this class, we will observation and analysis of lesson by VTR and teaching plan, extract activit y and an experience from a textbook and think about the constitution of activity and the experience to plan the understanding of the child. We will analyze the record, think about how to constr				

utline	uct classes to understand children. Implementation of simulated lessons, assessment of classes using questionnaires, and evaluatio n of class participants, study lesson based on lessons evaluation.